

# プログラム概式

森・山

プログラム名	森のおでんづくり	
対象年齢	年中 4歳児	
メッセージ	自然界に無駄なものはない	
ねらい	<p>発見・体感 できること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森の暗さ、地面のにおい、葉っぱの形、色のちがいに気づく</li> <li>葉っぱや木の実は、楽しい遊び道具になる。</li> </ul>	
参加者のめやす	幼児 21人	支援者 2人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	○グループに分かれる	
0:02	○グループごとに、家作りに必要な木や石を集めてお家作りをはじめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに保育者が入り、子ども達の発見やつぶやきに耳を傾け、共感したり、アドバイスの声掛けをしていく。</li> </ul>
0:12	○おでん作りの話を聞く ・森の中の石、葉っぱ、木の実を使って作ることを伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>おでんの具材や何で作るかなど、子ども達からの意見を聞いて、おでんに対する興味、イメージを広げる。</li> </ul>
	○お鍋に、変身させ、具材にする材料を探しに行きおでん作りをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉子はマツボックリなどの木の実を見せて「これは玉子みたいだね」など、ヒントとなるような声掛けをする。</li> </ul>
	○完成したら、食べるためのお皿、おはしになるものを探す	<p>「アンドラ、インドラ、ウンドラ！」 の呪文で家がお鍋に変身</p>
	○みんなで、いただきます	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループの出来上がったものを認め、楽しく食べるまねをする。</li> </ul>
0:30	○ごちそうさまをし、片づける ・森の中の自然に返す	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかった気持ち、見つけたものを振り返りながら、またやりたい気持ちを持てるようにする。</li> </ul>

あき

森・山

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
	<p>枝を集めて、まーるいお家を作ったよ。みんなが入れるかなあ。</p>	
		<p>お家をお鍋にする呪文は「アンドラ、インドラ、ウンドラ！」枝のお家が、なんと！お鍋に見えてきて、お腹が減ってきました。おでんをつくろうよ〜。</p>
		<p>枝を立てると、ほんのお家になってきた！中にも入れるかも。</p>
		<p>おでんを作ったよ。玉子、コンニャク、ジャガイモを刺して、お鍋に入れてグツグツツ〜。</p>
		<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おでんづくりを家庭で行ってもらう。</li> <li>園庭や保育室で、自然物を使ってままごと遊びをする。</li> <li>ダンボールやラップの芯、空き箱を使って、家づくりをする。</li> <li>近隣の公園など別の場所に出かけて、本日の自然物と葉っぱの色や形を比べる。</li> </ul>
	準備物・教材等	

あき